

「中国式現代化」の実現に向け、スピーディーな政策運営に期待

ポイント① 成長率は改善も、不透明感が続く

10月24日に中国の9月の経済指標が発表されました。中国共産党大会の会期中に突如の発表延期となったことから、悪化の憶測もあったものの、7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比+3.9%となり、4-6月期（同+0.4%）から持ち直した結果となりました。一方、国内消費や不動産市況を示す関連指標は9月も低調な水準となり、不透明感が続いています。

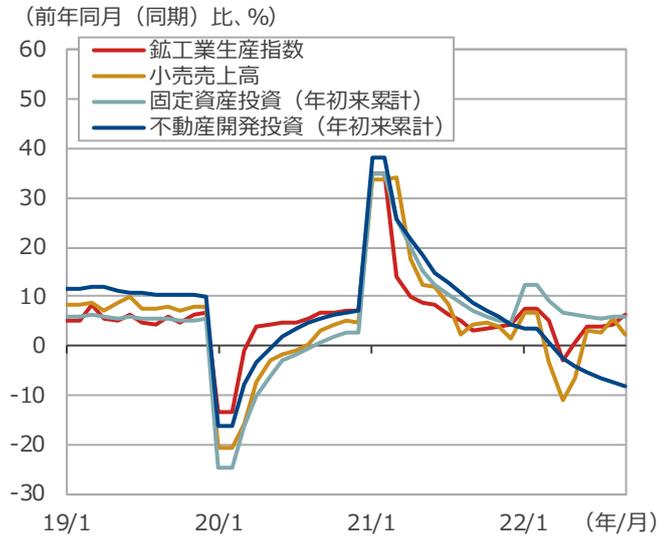
ポイント② 党大会、長期的な目標に留まる

10月16日から22日に5年に1度の中国共産党大会が開催され、重要な政策課題が議論されました。注目されていたゼロコロナ政策の転換や不動産不況への施策、米中対立への対応など足元の景気減速への打開策に進展はなく、「質の高い発展」や「共同富裕」などを目指す「中国式現代化」の実現など長期的なスローガンを掲げることに留まりました。

ポイント③ 新指導部の実務派抜擢に注目

党トップ人事が決まる中央委員会第1回全体会議が10月23日に開催され、7人の政治局常務委員（最高指導部）と24人の政治局委員（指導部）が選出されました。習近平氏の側近で固められた「習氏1強」の最高指導部の発足にネガティブな見方が多く、週明け24日の香港株式市場が急落するなどマーケットでは警戒感が強まりました。一方、政治局委員に宇宙・航空、原子力、環境、公共衛生などの実務畑出身の技術型官僚が多く抜擢されたことに着目し、「中国式現代化」の実現に欠かせない科学技術力の強化に向け、スピーディーな政策運営に期待するとポジティブな見方もみられました。今後の動向に注目が集まります。

中国の主な経済指標



期間：2019年1月～2022年9月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

中国共産党の新たな最高指導部メンバー

氏名 (派閥)	主な職歴
習近平 (習派)	共産党中央委員会総書記
李強 (習派)	上海市書記
趙楽際 (習派)	中央紀律検査委員会書記
王滬寧 (無)	中央全面深化改革委員会弁公室主任
蔡奇 (習派)	中央書記処書記、北京市書記
丁薛祥 (習派)	中央弁公庁主任
李希 (習派)	中央紀律検査委員会書記、広東省書記

(出所) 各種資料より野村アセットマネジメント作成

重要イベント 10月31日 中国製造業/非製造業PMI (購買担当者景気指数、10月)